



証券コード：7673

2021年5月期 第3四半期 決算補足説明資料

2021年4月7日

ダイコー通産株式会社

1. 2021年5月期 第3四半期決算概要

イベント需要の取り込みにより、売上高・各利益ともに好調に推移しております

中長期的な経営戦略に沿って、重点施策を着実に推進するとともに積極的な営業活動を展開いたしました。

業績予想の修正（6頁参照）がございますので、通期計画及び進捗率は今回の修正を反映した数値であります。

(単位：百万円)

	2020年5月期 第3四半期実績	2021年5月期				(参考) 2020年5月期	
		第3四半期実績	前期比 増減率	通期計画	進捗率	通期実績	進捗率
売上高	11,323	13,956	+23.2%	17,880	78.1%	15,544	72.8%
売上総利益	1,768	2,182	+23.4%	2,771	78.7%	2,413	73.3%
利益率	15.6%	15.6%	0.0%	15.5%		15.5%	
営業利益	520	908	+74.6%	1,031	88.1%	763	68.2%
利益率	4.6%	6.5%	+1.9%	5.8%		4.9%	
経常利益	527	949	+79.8%	1,069	88.7%	756	69.7%
利益率	4.6%	6.8%	+2.2%	6.0%		4.9%	
四半期(当期)純利益	352	597	+69.5%	687	86.9%	565	62.3%
利益率	3.1%	4.3%	+1.2%	3.8%		3.6%	

※2021年5月期進捗率は、2021年5月期業績予想に対するものです。

■ 2021年5月期 第3四半期決算の概要

1

売上高・売上総利益は、G I G Aスクール構想案件及び防災行政無線案件を含む屋内通信設備工事案件を多数受注した結果、前年同期の実績を上回っております。

2

営業利益は、売上高・売上総利益の増加等により、前年同期の実績を上回っております。また、販売費及び一般管理費につきましては、計画通りに推移しており、特記すべき特別な支出はございません。

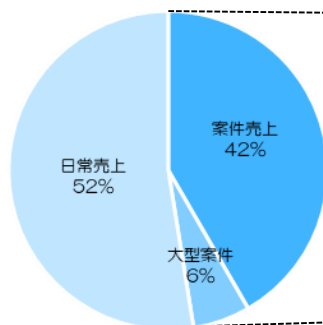
日常売上・案件売上別の売上及び売上総利益の構成比詳細

(注) 日常売上・・・日々受注する小口の売上。 案件売上・・・一定量まとまった受注による売上で100万円以上のもの。1億円以上のものは大型案件(特需)。

■ 売上構成比

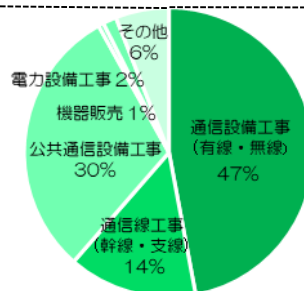
日常・案件別

・案件売上・案件内、大型案件・日常売上



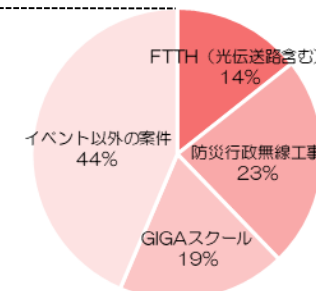
案件売上区分

・通信設備工事・通信線工事・公共通信設備工事・機器販売
・電力設備工事・その他



イベント案件区分

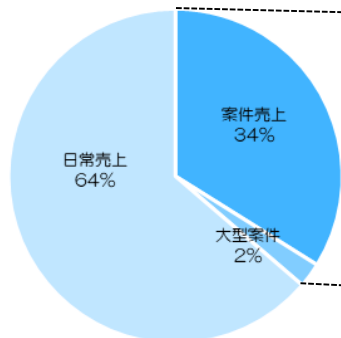
・FTTH(光伝送路含む)・防災行政無線工事
・GIGAスクール・イベント以外の案件



■ 売上総利益構成比

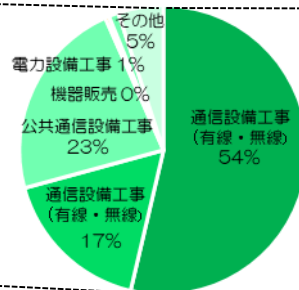
日常・案件別

・案件売上・案件内、大型案件・日常売上



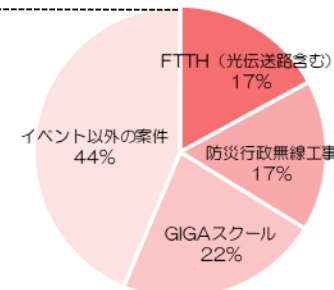
案件売上区分

・通信設備工事・通信線工事・公共通信設備工事・機器販売
・電力設備工事・その他



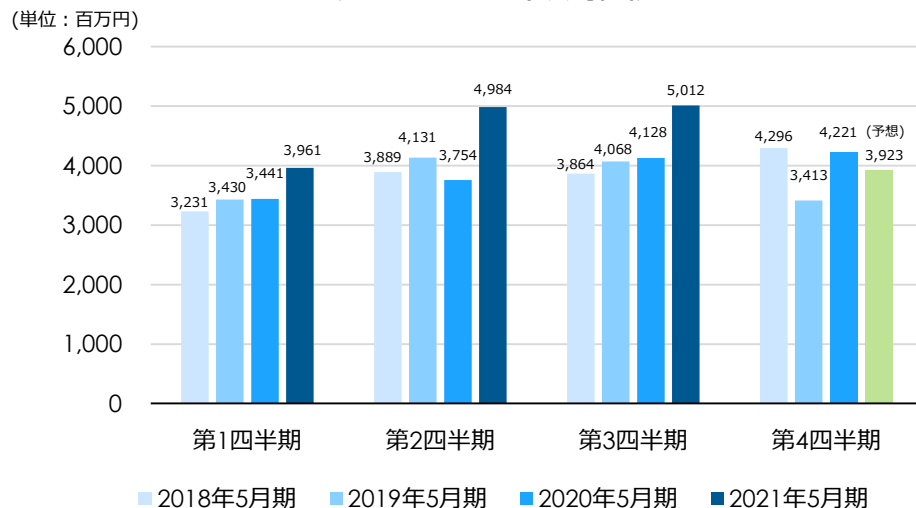
イベント案件区分

・FTTH(光伝送路含む)・防災行政無線工事
・GIGAスクール・イベント以外の案件

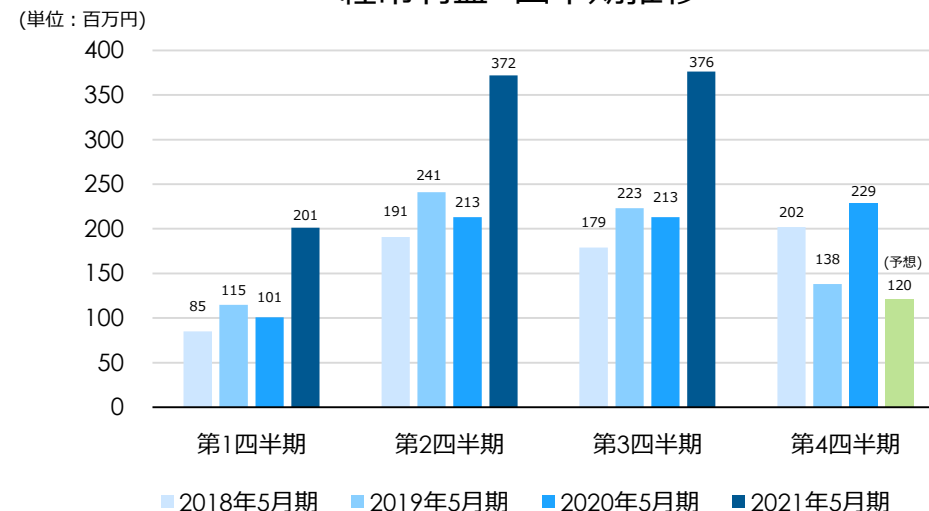


第3四半期の進捗率は、良好に推移しております

売上高 四半期推移



経常利益 四半期推移



売上高進捗率	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2018年5月期	21.1%	25.5%	25.3%	28.1%
2019年5月期	22.8%	27.5%	27.0%	22.7%
2020年5月期	22.1%	24.1%	26.6%	27.2%
2021年5月期	22.2%	27.9%	28.0%	—

経常利益進捗率	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2018年5月期	13.0%	29.1%	27.2%	30.7%
2019年5月期	16.0%	33.6%	31.1%	19.3%
2020年5月期	13.5%	28.1%	28.1%	30.3%
2021年5月期	18.8%	34.8%	35.1%	—

※2021年5月期進捗率は、2021年5月期予算に対するものです。

■ 業績予想に対する進捗率について

1

例年、売上高・経常利益ともに上半期の進捗率が小幅ながら低くなる傾向を有しておりますが、2021年5月期上半期は、前期末の期ズレ案件の受注のほか、下半期に予定していた案件の一部前倒し受注と、特需であるG I G Aスクール構想案件を含む屋内通信設備工事案件の受注が好調に推移したことにより、2021年5月期予算に対する進捗率が例年より高くなっております。

2

例年、下半期の進捗につきましては、第2四半期後半(11月頃)から第4四半期前半(3月頃)にかけて売上高が増加する傾向にあります。主な要因といたしましては、当社の主要顧客である通信工事等の施工業者が、年度末である3月竣工の公共工事や民需工事を行うためであります。2021年5月期下半期においても例年と同水準の売上高を見込みますが、上半期の業績により、進捗率は例年より低くなると予想しております。

2. 2021年5月期業績予想

2021年5月期決算は、増収増益を見込んでいます

(注) 直近に公表しております業績予想から修正があります。

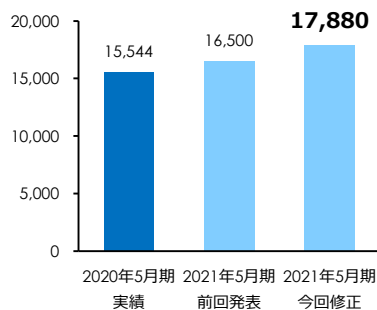
顧客基盤、取扱い商品数の拡充に加え、イベント需要としてFTTH案件、光伝送路案件、防災無線デジタル化案件、G I G Aスクール構想案件の獲得に取り組んでまいります。

(単位：百万円)

	2020年5月期 (通期) 実績	2021年5月期（通期）予想				(参考) 前期比	
		前回発表	今回修正	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	15,544	16,500	17,880	1,380	+8.4%	2,336	+15.0%
売上総利益	2,413	2,539	2,771	232	+9.2%	358	+14.8%
利益率	15.5%	15.4%	15.5%				
営業利益	763	806	1,031	224	+27.8%	268	+35.1%
利益率	4.9%	4.9%	5.8%				
経常利益	756	837	1,069	232	+27.8%	313	+41.4%
利益率	4.9%	5.1%	6.0%				
当期純利益	565	571	687	116	+20.4%	122	+21.6%
利益率	3.6%	3.5%	3.8%				

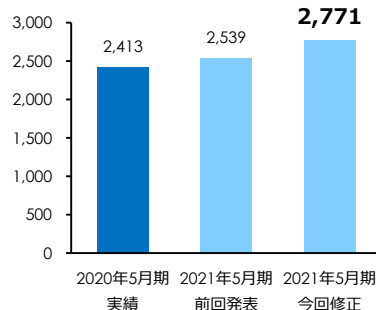
■ 売上高

(単位:百万円)



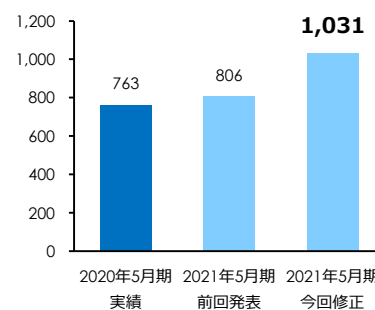
■ 売上総利益

(単位:百万円)



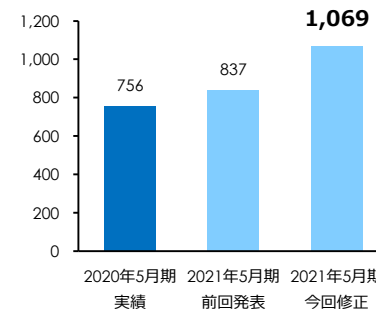
■ 営業利益

(単位:百万円)



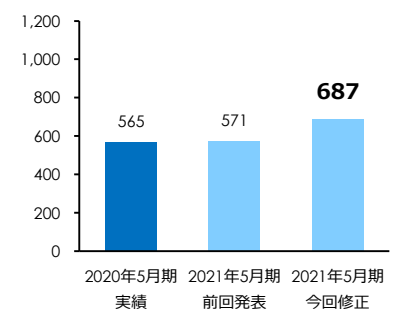
■ 経常利益

(単位:百万円)



■ 当期純利益

(単位:百万円)



3. トピックス

トピックス

1

新型コロナウイルス感染症による影響

2

営業・物流拠点の新築・移転計画の進捗

3

イベント需要の案件獲得に向けた取り組み


4

5Gの現況と、販売が見込まれる当社取扱商品

トピックス①

新型コロナウイルス感染症による影響

このたびの新型コロナウイルス感染症による影響を受けられた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。
また、感染拡大防止に尽力されている医療関係者をはじめとする多くの方々には心より敬意を表します。

 当社における新型コロナウイルス感染症の影響につきまして、現時点での状況は、以下のとおりです。

売上の状況	仕入の状況
<ul style="list-style-type: none"> ● 一部の案件において、一時的な工事の自粛や延期の情報が入っております。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外直接仕入(中国)の商品に、納期遅延は発生しておりません。 ● 日本国内仕入の商品は、一部商品に出荷遅延が生じているものの、数品目で限定的であります。

影響

影響は軽微であるため、最近の経営環境及び業績動向等を踏まえ、業績予想は算出しております。



今後の感染拡大や収束の状況等によっては、業績へ影響を与える可能性があります。

営業・物流拠点の新築・移転計画の進捗

新築計画の進捗

東京営業所・東京物流センター

選定中

需要が増加している東日本ブロックにおける物流網の拡充のため、東京営業所・東京物流センターの新設を計画し、2021年5月期中の建設用地の取得に向け、東京都東部エリアを中心に、当社の希望条件（物流の利便性、従業員の通勤、設備の広さ等）に見合う候補地の選定を現在進めております。決定次第公表いたします。

移転計画の進捗

広島営業所



完成

広島営業所（賃貸物件）の近年の取扱量及び在庫品目の拡大に伴い、今後の更なる業容拡大及び効率化のため、新広島営業所の建設用地を取得し、この度、かねてより建設中であった社屋が完成する運びとなりました。
なお、業務開始日は4月26日を予定しており、2021年5月期の業績へ与える影響は僅少であります。

[広島営業所 外観写真]

所在地	広島市西区商工センター五丁目8番19号
用途地域	準工業地域
敷地面積	1,154.04㎡
建屋	営業所(2階建) 1階倉庫、2階事務所
業務開始日	2021年4月26日(月)



イベント需要の案件獲得に向けた取り組み

G I G Aスクール構想

GIGAスクール構想とは、「児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想」です。

令和2年度文部科学省補正予算案の抜粋

GIGAスクール構想の加速による学びの保障 2,292億円

「1人1台端末」の早期実現や、家庭でも繋がる通信環境の整備等、「GIGAスクール構想案件」におけるハード・ソフト・人材を一体とした整備を加速することで、緊急時においても、ICTの活用により全ての子供たちの学びを保障できる環境を早急に実現する。



令和時代の学校教育スタンダード

児童生徒向けの1人1台端末

高速大容量の通信ネットワーク

DAIKO

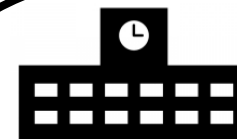
2021年5月期

販売が見込まれる商品

- LAN材料
- 無線通信機器 等

今期

特需案件



G I G Aスクール構想の実現

ICT環境の
整備や調達

端末や
LAN整備

ローカル
5Gの活用

当社ビジネスと密接な関係

5Gの現況と、販売が見込まれる当社取扱商品

5Gサービス普及の見通し



2021年5月期

DAIKO

5G関連
案件

- ① 光伝送路敷設に関する案件
- ② C A T V局の幹線光化に関する案件
- ③ 地方自治体の I R U整備に関する案件 等

現在入手可能な情報に基づき、業績予想に反映しております。

今後の展望

2023年度末の全国の5G基盤展開率は98.0%の見込み

中長期的な取り組み



		◆販売が見込まれる商品
光伝送路敷設	既設光伝送路の増強・張替による通信大容量化、速度向上が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・光ケーブル ・支線材料 ・装柱金物 等
基地局増設	基地局増設は都市部より進み地方へ展開され、商流が本格化する見通し。 <input checked="" type="checkbox"/> 総務省は5G基地局の2023年度末整備計画を当初の3倍(21万局以上)目標に	<ul style="list-style-type: none"> ・電源ケーブル ・非常電源設備 ・配管材 等
ローカル5G	大手携帯電話会社が整備する5Gとは異なる周波数帯域電波を使い、限定されたエリアのなかで高速通信を可能にする技術。光ファイバ網に無線を組み合わせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・LAN材料 ・無線通信機器 等

5Gの実現のためにはバックボーンとなる光ファイバの整備や基地局の増設、無線通信環境の構築が必要であり、必然的に当社ビジネスと密接な関係にあります。

4. 株主還元



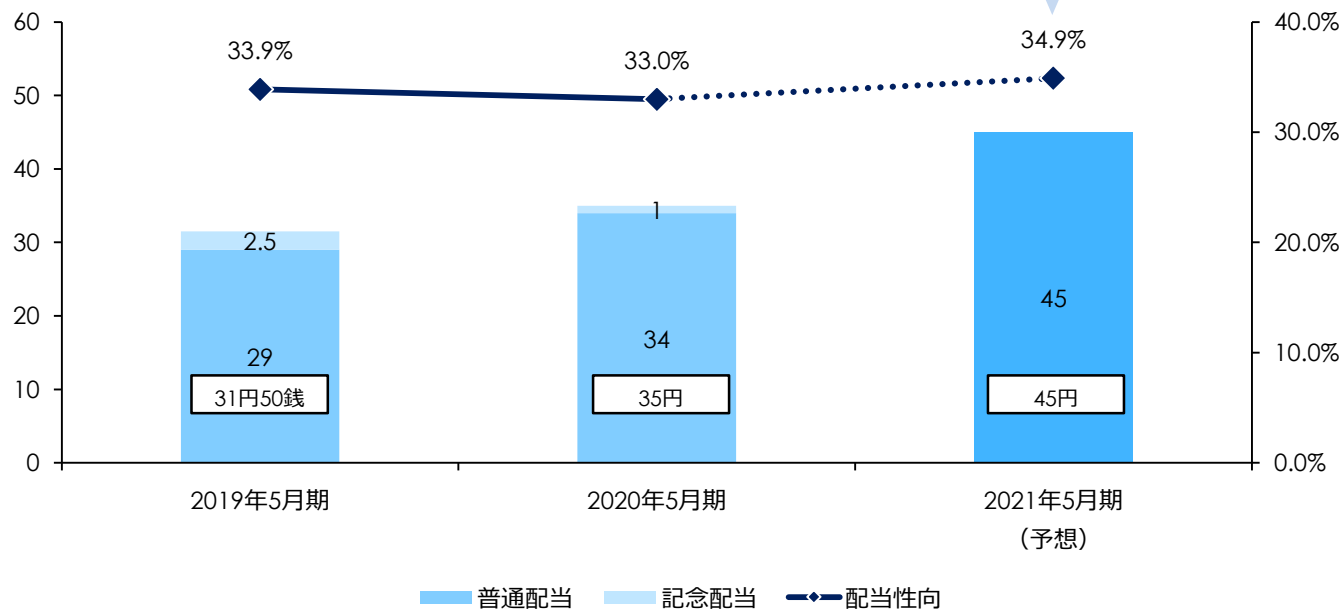
安定的かつ継続的な配当を実施していくことを配当の基本政策としております

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営施策としており、会社の業績に応じた適正な利益還元に加え、日常の事業運営に必要な運転資金と将来の事業展開のための内部留保を確保して健全な財務体質を維持しつつ、配当性向35%程度を目途に安定的かつ継続的な配当を実施していくことを配当の基本政策としております。

👉 今回の業績予想の修正に伴い、1株当たり年間配当予想額を以下のとおり修正させていただきます。

年間配当金	2020年5月期	2021年5月期予想		増減額	
	前期実績	前回発表	今回修正	前期比	予想比
	35円00銭	37円00銭	45円00銭	10円00銭増配	8円00銭増配

(単位：円)



配当性向
35.0%程度

(注) 2019年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
2019年5月期の配当金については、2019年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり配当金の額を算定しております。

【注意事項】

- ◆ 本資料は、当社の財務情報、経営情報等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。
- ◆ 本資料に掲載されている当社の計画や戦略、業績の見通し等は、将来の予測等に関する情報を含む場合があります。これらの情報は現在入手可能な情報に基づくものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があり、当社はこれらの情報を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。
- ◆ 資料の作成には、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、当社は事由の如何を問わず一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。
- ◆ 本資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定はご自身のご判断で行うようお願いいたします。

【お問合せ先】

ダイコー通産株式会社
管理部 IR担当
TEL：089-923-6644

The logo for DAIKO, featuring the word "DAIKO" in a bold, blue, sans-serif font. The letters "D", "A", and "I" are connected, and the "K" and "O" are also connected. The "I" has a slight shadow or gradient effect.